



## 手を携えて前進しよう

2007/08 年度国際会長  
ラッセ・ベルシュテット



ワイズメンの皆様

多くの区が私のスローガン「示そう、そして成長しよう」を真剣に受け止めて下さっていることを知り嬉しく思います。国際協会への加盟申請状況を見ますと、今年再び会員数が3万人を超えるであろうと期待されます。クラブ

拡張に尽力されている皆様へ感謝します。

1 月末にジュネーブで年央会議を開きました。年央会議に集まるときはいつも興奮します。一つは、国際選挙の結果が知られるからです。次の次期国際会長になるのは誰か？新たに国際議員になるのは誰々か？国際の全クラブによる投票結果は3ページをご覧ください。2008/09 年度の次期国際会長に決まったカナダエリアのケヴィン・カミングズ氏にお祝いを申し上げます。同氏は指導者研修・組織発展の国際事業主任として周知の方です。新国際議員の皆様にも祝意を表し、健闘を祈ります。国際議員の任務は大変重いものです。議員諸氏が度量と友情をもって、国際、の課題に取り組まれることを希望します。その協力奉仕によって私たちの国際協会は強められることでしょう。やればできます、前進できます、手を携えれば。

ワイズメン国際協会が NGO 団体として国連に認知されるよう働きかけを行った小チームが、3 月中旬にデンマークのヴェイレで会合します。オッレ・ハンセン、ラッセル・リーグ両元国際会長、ロランド・ダルマス国際書記長と私とが、ハンセン氏宅に集まります。この国連認知を活用するために最適の方策を討議する予定です。蚊が媒介するマラリアを防止するため、アフリカに蚊帳を送ることについて検討が加えられてきました。この活動は良い成果が期待されますし、国際の全クラブが支援できるものでしょう。無論、実施に移る前に、国際議会がこの提案を採択せねばなりません。

国際の「前進計画チーム」は、この3年間熱心に作業を続け、申し分ない計画案を策定してきました。この実は国際でもクラブでも使えるものですが、チームはこの計画作業を引き続き進展させています。皆様のクラブや区でこの計画を採用し、どの部分が有効であるか検証してください。

本チームの最終会合はこの5月末にシンガポールで行われます。皆様からのご報告によりチームメンバーは計画案を見直し、必要な改訂を行うこととなります。

皆様が私の主題どおり「国境を超えた奉仕」に励んでくださったことに、改めて感謝を申し上げます。皆様に神の祝福がありますように。

## 国際編集長から

国際編集長 アラン・ウォリントン



良い写真があると、記事がより素晴らしいものになります。しかし、会員の皆さんがカメラの方を向いて列を組んでポーズをとってられるような写真はどうぞ遠慮下さい。このような写真はクラブ

や部や区にとっては良い写真かもしれませんが、写っている人々を見たこともない読者にとっては何の関心をも引きません。人々の奉仕などの活動の写真、それが最も欲しいものです。勿論、その写真に、ワイズのロゴが入っていれば、いうことはありません。

写真をスキャンしてメールに添付して送って頂く場合は、YMW に載せるためには、少なくとも 300dpi が必要です。写真の実物の大きさと、出来るだけ高品質でスキャンし、“jpg” フォーマットでメールに添付し送って下さい。

デジカメで撮った写真の場合は、メール用に縮小せず、オリジナルのまま送って下さい。1600×1200 ピクセル以上を使用して下さい。ご参考の為、電子ファイルが 250kb 未満の場合は YMW に鮮明に掲載できません。

上記が難しい場合はエアメールで、写真そのもの（ポジ）を送って下さい。必要な場合はスキャンした後返送します。

私の担当は編集で、記事を書くことはありません。記事を書くのは皆様です。私の役目は、寄稿をお勧めし、そのお手助けをし、入手した記事から掲載記事を選び、レイアウトすることです。ご寄稿はいつもお待ちしております。

締切より早ければ早いほどありがたいです。ご参考のため、掲載しやすい語数は約 300 語（日本語だと大体 800 字程度）です。世界中の人々に読まれるので、ニュースやメッセージは出来るだけ判りやすいものにして下さい。また、読者にとって、教訓になるか、啓蒙になるか、関心があるか、楽しませるものをお願いします。クラブについての単純なニュースや周年行事は、地球の裏側に住む読者の皆さんには余り興味はないでしょう。あなた方がされた特別な活動こそお待ちしております。正しい英語の綴りや文法にそんなに時間をかけないで下さい。私の役目の一つは、この手助けになることであり、必要な場合には、皆様の編集助手になることです。何か原稿をお送り下されば、それが記事になるかどうか、喜んで検討します。

最後に過去の YMW をもう一度ご覧下さい。どんな記事が掲載されたか、一目瞭然にお分かりいただけるでしょう。



### 国際選挙の結果

投票期限までに 595 通の有効投票、期限後に 27 通(2月 14 日現在)の投票、また 120 通の無効票がありました。2007 年 10 月 1 日現在のクラブ数は 1,590 ですので、全クラブの 46.7%が投票を行い、うち期限内のものは 45%でした。(訳注:投票権を認められないクラブを分母から除けば投票率はもっと高いはず。)

カナダのケヴィン・カミングズ氏(写真)が 2008/09 年度の次期国際会長に選出されました。2008 年 7 月に就任します。



2008 年 7 月 1 日に就任する新国際議長は次の諸氏です。

チョン・ビュンク(韓国)、ジミー・リウ(台湾)、クー・ジュンモ(韓国)、谷本秀康(日本・東広島クラブ)(以上アジアエリア選出)、アント・K・アントニー、フィリップ・マタイ(以上インドエリア選出)2008 年 7 月から次期国際議員となるのは次の 2 氏です。

ウェイン・ジャービス(カナダエリア選出)、フィル・サマー(米国エリア選出)(以上すべて男性)

### 隣人と共に生きる

キリスト教強調国際事業主任  
ピーター・ギルバート

2007 年は地球の平和にとって良い年ではありませんでした。数多くの紛争が起こり、諸国の無数の人々が日々を生き延びるために今も難儀しています。

イエスが語られたとおり、キリスト教の核心はこうです。「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい」(マタイ 7:12) お釈迦様が語られたとおり、仏教の黄金律はこうです。

「他人をあなた自身であると思いなさい。あなたは他の人と同じなのだということ覚えなさい。」(己が欲せざるところを人に施すことなかれ) 私たちはいまだに国と国、民族と民族で互いに相手を蔑視しています。人類は皆遠縁で結ばれており、共通の一族から来ているのです。お互い同士、協調して生きることを学ばなければなりません。

エフェソ書 4 章 31、32 節にこうあります。「無慈悲、憤り、怒り、わめき、そしりなどを、一切の悪意と一緒に捨てなさい。互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。」

偉大な政治家ネルソン・マンデラ(南アフリカ共和国初代大統領)は、誰もが見習うべき素晴らしいお手本です。彼は道理あることのために闘い、長年政治犯として投獄されていましたが、復権後、建国してその最高指導

国境なき奉仕

者となりました。そして、彼を迫害していた人々を赦したのです。

マンデラ氏こそは、騒然とした現代社会において高く奪える人物です。

私たちの国際ワイズ運動は、多くの国籍・信仰・皮膚の色を持つ人々から成っていますが、一つの大きな家族です。すべての人が煩いなく、互いに協調して生きられる世界を築くのが、私たちのワイズ運動の目的です。

### 地域奉仕へボーナス

前国際会長 ジョン・L・チョア

2007/08 年度 YMW 第 1 号で、Lee Joo-min アジア地域会長のリーダーシップの下に行われたアジア地域の努力についてお読みになったことと思います。悲惨な被害者のために 8 棟のコンクリートの家が TH500 プロジェクトによって建設されました。

フィリピン区に行なったこのアジア地域の地域奉仕は、ワイズメン運動の中に多くの善意を生み出し、またそのよき PR となりました。私がレガスピ市の人々にワイズメンズクラブを作るよう呼びかけるや、彼らは直ちにに応じてくれました。そしてフィリピン区は、2007 年 11 月にレガスピ市に Mayon ワイズメンズクラブという新しいクラブをチャーターしたのです。

これは、良きそして効果のある地域奉仕はワイズメン運動にとってよき PR 媒体になるという典型的な例です。このためにこそ、我々は地域奉仕に第一優先順位をおかなければなりません。すべての TOF プロジェクトもワイズメン運動において善意を生み出し、ワイズメン運動のよき PR となり、そのプロジェクトの恩恵を受ける地域にワイズメンズクラブを立ち上げる励ましとなるに違いありません。

### あるタイムオブファストの活動

日本担当副編集長 山川一郎

姫路グローバルワイズメンズクラブは 2002 年、TOF の月 2 月の定例プログラムとして、無料食事サービス・プログラムを始めました。当初、世界文化遺産である姫路城のある公園で行うことを企画しましたが、市役所は許可を出しませんでした。しかしながら、姫路 YMCA で大きな鍋で調理した後、バンで公園近くの現場へ運び



込むことのある公園で行うことを企画しましたが、市役所は許可を出しませんでした。しかしながら、姫路 YMCA で大きな鍋で調理した後、バンで公園近くの現

場へ運び込むことにしました。

## TOF、創立 85 周年クラブ



当日の 2~3 日前にクラブのメンバーたちは、公園で生活しているホームレスの人たちに呼びかけ、食事サービス・プログラムについて案内します。その人たちは又、近くで生活しているホームレスの人々にも呼びかけ、初回は 30 人の人々が集まりました。新鮮な野菜のタップリ入った月表汁を久しぶりに食べて心から喜ばれました。食事と共に、久しぶりの友愛の心をも味わって下さったことと思います。これに加え、毛布、下着、衣類なども贈ることをはじめました。

姫路 YMCA 高等学院は、通常の高校に行きたくない不登校生が通う特別な学校です。2005 年から、この高等学校の生徒達もこのプログラムに参加し、自分たちもボランティア奉仕の喜びを味わったのでした。このプログラムは、姫路市の他の幾つかのボランティア・グループにも広がり、ホームレスの人々は今では毎月作りたての食事を味わうことができている。

### 85 年を迎えるクラブ

Sydney Y's Men's Club (カナダ)

Sandy Reynolds

カナダの Sydney ワイズメンズクラブは本年特別の誕生日のお祝いをしました。当クラブは、1923 年 1 月 10 日にチャーターされ、アメリカ合衆国外で初めてチャーターされたクラブになり、そして、ワイズメンズクラブを国際的なものにしました。

我がクラブは、1922 年 12 月 22 日にチャーターされたオハイオ州 Toledo Central クラブについて、ワイズダムにあって二番目に古いクラブです。当クラブの会員たちは、このクラブの誕生日と同じ日に初めて例会を行い、お祝いをしました。



(左から会員歴 54 年の会員、現会長、会員歴 50 年の会員、会員歴 50 年の会員)

### ワイズはまだ 85 歳

Kirovsk Vudyavr Y's Men's Club (ロシア)

Tatyana Piskuryova

私達ロシアの Kirovsk では、2007 年に誕生 85 周年を迎えるワイズダムを祝う特別のイベントを行ないました。

私達の親クラブは北ノルウェイの Alta Folk School の生徒達との会合をアレンジしてくれました。Vudyavr ワイズメンズクラブは 5 つのクラブからのゲストを迎え、ワイズダム生誕の日の喜びと誇りを分かち合いました。Kirovsk YMCA とワイズメンズクラブは既存のクラブを強め、新クラブを立ち上げるために新たなメンバーを引き込むためのセミナーを開きました。セミナーの主催者は全力を尽くして、地域政府機関、公務員、ジャーナリストやメンバーになる可能性のある人々を招きました。セミナーは意見や新鮮なアイデアの交換があり、有意義なものになりました。参加者はワイズメン運動に関心を抱き、このセミナーによって新メンバーの入会が促進される事が期待されます。ノルウェイの Arendal クラブから、Egil Odd Halvorsen、Leif Walle という二人のワイズメンがこのセミナーに参加し、暖かい激励を贈ってくれました。

Vudyavr クラブの特別例会では、ワイズダムの歴史と地理、基本的な原則、主たる基金、この組織の発展に果たした創始者ポール・ウィリアム・アレグザンダーの役割について話合いました。

滞在中の Egil Odd ロシア北部事業主任とクラブ会長たちは、Barents 部のさらなる発展のための将来計画を策定しましたが、その中には、我々の運動の大きな非常に重



国境なき奉仕



要な一面でとして、研修が組み込まれていました。Vudyavr クラブではロシア区的全クラブに、マニュアル、パンフレット、書籍、ガイドライン等必要な資料を充実させるとの考えが述べられました。同クラブが近年色々なクラブに印刷物を翻訳、発行、配布できるのは、ノルウェイ区からの助力によってであるとのことでした。若いワイズメンたちは、楽しい素晴らしいコンサートでこのミーティングを締めくくってくれました。そしてこのような会合をまた開くことを互いに約して別れました。

## エンダウメントファンドの増強のために

国際事業主任

フィル・サンマー

エンダウメント ファンド (EF / 信託基金) は、私達の運動の継続を続け、さらに新しい国・地域に区を増設していく上での最も重要な資金源です。その目標は次の通りです。

ワイズメンズクラブ国際協会に加盟するクラブを世界中で拡張し、発展させる。

地域 (Areas) や区 (Regions) の強化・拡張・発展にむけて、重要な問題の解決や特別の事業を推進するための資金を提供する。

毎年、この基金評議会は国際議会に対して、前年度におけるこの基金の市場価値の 5% を超えない範囲で、これらの特別事業推進のための連用に資金を提供します。そのため、年毎に世界のワイズダムから寄金を集めて、この原資の補充・増強を続けていくことが極めて重要です。この献金は、クラブからの拠金として、或いはワイズ会員・ご家族、クラブや関係者の記念や慶弔の折などに、最小限 100 米ドルを送金することが最も一般的な方法です。更に“オナロール”(Honor Roll) として良く知られている献金の方法があります。1,000 米ドルを献金すると、“Iceberg”(アイスバーグ) と呼ばれる特別の記念の盾とバッジが贈られます。この献金は、意思の表明または約束、或いは分割の明示などによって分割納入ができ、ジュネーブのワイズ国際本部に記録されて、完了まで引き継がれます。クラブとしてのオナロールもあり、現在 11 のクラブがアジア地域、ラテンアメリカ・カリブ海地域、北米地域にあります。

2007 / 08 年度の EF 献金の目標は、85,850 スイスフランです。私は世界の地域 (Area) EF 事業主任に訴えます。各地域の区 (Region) での EF 増強の推進をお願いします。目標 100% の達成をめざそうではありませんか。

## 一つの素晴らしいクラブ

国際本部

ポーリン・グロス (Pauline Gross)

1989 年、エンダウメントファンドに 100 米ドル (または相当の金額) を寄金した人には、ポール・ウィリアム・アレキサンダー・フェロー (PWWF) という称号を

授与することが決定されました。この称号を与えられた人々の名前が、ジュネーブの国際本部に設置されている「ゴールデン・ブック」の特別のページに記録されています。PWWF を受けた人々には賞状とバッジが贈られますが、この PWWF を持つ人々は既に 3,300 人を超えています。

2008 年 2 月、ある素晴らしい出来事がインドにありました。一つの新しいクラブが国際加盟の認証状を伝達されたその日、この 17 名の会員が全員揃って PWWF になったのです。この素晴らしい出来事を記念して、このクラブは “The Y's Men's Club of Bangalore Central PWWF” と名称をつけたのです。

## BF コンテストには、こんな賞が！！

BF 推進国際事業主任

後藤邦夫

ブラザーフッド・ファンド (BF) は、世界の多くのクラブから、使用済み切手収集からの献金や現金による献金で支えられています。この BF コンテストには色々な賞が用意されており、毎年度、素晴らしい成果をあげたクラブにこれらの賞が与えられます。

アーニー・ベル賞 (Ernie Bell Award) は、1941 - 1964 に切手収集国際事業主任を務められたアーニー・ベルを記念して名づけられました。使用済み切手による最大拠金の 10 クラブにバナー・パッチが贈られます。06 / 07 年度は、その最高のクラブはデンマークの Odin Y's Men's Club of Odense で、切手による献金は 2,650 米ドルでした。ダイレクター賞 (Director's Award) は、クラブ単位での最高の合計金額 (切手・現金) を拠出した区に贈られますが、カナダのマリタイムス区 (Maritimes Region) が受賞しました。クラブ平均で 730 米ドルでした。

ワイズメンズワールド 2007 / 08 年度 第 3 号

国際編集長 : Alan Wallington (Bristol, England)

日本版翻訳者 : 青木一芳 / 千葉、後藤邦夫 / 東京まちだ、重村利幸 / 横浜、中田靖泰 / 札幌、西村隆夫 / 東京センテニアル、村野 繁 / 東京目黒、山川一郎 (長) / 姫路グローバル  
日本担当副編集長 : (掲載希望原稿をお送り下さい) 山川一郎

〒670 - 0831 姫路市城見町 168

079 - 288 - 7777

e - mail : yamaqua@vesta.ocn.ne.jp

(注) 原稿は日本語で結構です。写真を是非添えてお送り下さい。

次号の原稿締め切りは 8 月 24 日です。

### パートナーシップ活性化の現場から

国際 YMCA 連絡事業主任  
ラシェル・リーク

世界 YMCA 同盟は、タイで 2007 年 1 月の 1 カ月に亘って「革新的リーダーシップ養成プログラム」を、23 名の YMCA 青年リーダーを集めて実施しました。世界同盟からの支援要請を受けたワイズ国際執行役員会は、このプログラムへの参加者 1 名乃至 2 名の参加を支援するため、アレキサンダー奨学資金 (ASF) から 5,000 米ドルの提供を決めました。

世界同盟のウェブサイト<www.ymca.int>は、このプログラムの意義について、次のように述べています。

「地域社会への働きを今後も可能とさせる YMCAs の担い手となる青年の育成が危機的状況にある。このプログラムの目的は、彼らの地域社会と YMCA 運動自身の変革に意欲的に参画し活動する青年リーダーを訓練・養成することにある。このプログラムで、青年達はタイの地域社会の生活を直接的に体験するため、地域住民の家庭に宿泊し、その地域社会の様々な事業に関わって働いた。」 私たちワイズメンズクラブの最も重要な目標の一つは、あらゆるレベルにおいて YMCA を支援することです。

各個クラブは ASF のために献金します。それは、多くの青年たちが将来の YMCA リーダーとして力強く育つことを願い、リーダーシップ・トレーニングへの支援や奨学金の提供を行うためです。各区において集められた ASF 献金の 10% が国際本部の ASF 事業資金となります。この資金は毎年 5,000 スイスフラン程になりますが、アフリカ、アジア、ラテンアメリカ・カリブ海地域の YMCA が青年リーダーの育成事業に支援を受けています。

ワイズメン国際の前進計画の重要目標の一つは、ワイズメンの各個クラブと YMCA のあらゆるレベルでの協調関係の強化です。この世界的な青年リーダーシップ・プログラムが、YMCA とワイズの共通の願いである青年リーダー育成と地域社会への奉仕活動の発展を追求する意欲を象徴しています。これが世界 YMCA 同盟との強力なパートナーシップの更なる発展を示しています。

### ASF 事業推進の現場から

ASF 国際事業主任  
ラジャゴパラ・ラジャ (C.A.Rajagopala Raja)

ASF ファンド総額の 90% は各国の区で活用され、残りの 10% が国際事業の推進のために国際本部に送金されています。しかし、年度ごとの各区からの報告は必ずしも正確ではなく、世界全体としての総額を確定することはできません。ASF ファンド増強の計画は国際本部が



ら提示されており、国際事業主任として私もこの指針にのった活動を設定しました。国際本部での最終的な総額集計が可能となるよう、その報告書式と手順を設定しました。私はこれを各区理事、地域事業主任、各区の事業主任に提示し、そのコピーを国際執行役員と国際本部事務局にも送りました。

私は、地域事業主任、区事業主任と北米地域とアジア地域、特に北米の太平洋西区、太平洋中央区、更にアジア南東区、スリランカ区のクラブメンバー達と特別の連絡をとることに努力しました。旧知のバック・コックスおよびカール・ウォールサー理事たちの同行をいただき、北米地域太平洋中央区と太平洋南西区にも訪問する恵まれた機会を得ました。この訪問で私は、アメリカ北西 Y サービスクラブがクパーティノ市場での贈物包装サービス業務、リサイクル可能品の販売活動をしている現場を直接見学しました。

このクラブは、ASF ファンドとして 300 米ドルを国際本部に送りました。ASF 国際事業主任として、このことに大きな喜びを覚え、激励されています。

### ワイズメンと YMCA との協働

ロシア区広報事業主任  
Julia Shcherbakova

2007 年の夏、ロシア北部にある Kirovsk という小さな町に 3 才から 11 才までの子ども達を対象とする遊園



地が建造されました。これはノールウェーの都市 YMCA, YMCA Global 並びにワイズメンが Kirovsk 地域の行政機関と協働して実現した

たものです。このプロジェクトのために 12,000 米ドルの献金が集められました。

このプロジェクトが着工される前には施設計画や予算に関して何回も会議がもたれ、検討が重ねられました。

国境なき奉仕



私たちはプロジェクトの準備が完璧になったことか確認できるまで、YMCA Global と Kirovsk 市当局と緊密に連携を取り合いました。財政上の問題点が全て解決されたのを見届けた後、子ども達のための遊園地の建設工事が開始されました。そして、都市 YMCA のマークが遊戯施設の一つの壁で取り付けられました。



Kirovsk 市にあるワイズメンズクラブの全体会議において、ワイズメンズクラブがこの遊園地を支援して行くことが決議されました。まず最初に行なった仕事は遊園地の敷地の清掃でした。

土地を平坦に均し、小石を撒き、ベンチを取り付けました。また、遊園地の入り口には、犬をつれて敷地内を散歩することを禁止する表札をつり下げました。その日、子ども達をつれて遊園地にやってきた地域の人々はワイズメン達の作業を目撃しました。人々はワイズメンに近づき、何をしているのかと訪ね、ワイズメンズ国際協会とはどんな組織かと問いかけてきました。

新しい遊園地の誕生は町の人々にとって大きな驚きでした。以前、この町にはこのような施設は皆無でした。子ども達は遊具で遊んだり、登ったり、這ったりす



るため、いろいろな地区からやって来ました。また、親たちは遊具に熱中する子ども達を眺めながら、近くで休んでいました。ロシア区のワイズメンはクリスマス及び正月休暇の期間には、いろいろの慈善事業をやってきました。今年も、私たちは例年通り慈善事業を致しました。この辺りでは冬季には大量の積雪があります。そこで、私たちは YMCA の遊園地の除雪作業を実施しました。その翌日には、貧しい家庭の子ども達を招いてクリスマスの祝会を催し、パイとプレゼント付のお茶会の後、戸外で楽しいゲームに興じました。

我々はこのプロジェクトを将来も支援して行き、さらに我々の活動を行動によって示し、新しい会員獲得にも資することが出来る新しい活動を見つけて行きたいと考えています。この遊園地支援プロジェクトは YMCA とワイズメンズクラブが行政機関と協力することによって、

国境なき奉仕

地域住民に如何に大きな果実をもたらすことが出来るかと言うことを如実に示す好事例であると思います。

## 若者の心を捉えよ

インド担当副編集長  
Mathew Sebastian

11月4日はこどもの日として、インド全土でお祝いします。この日はインドの初代首相である Sri Jawaharlal Nehru の誕生日なのです。彼は何にもまして子どもを愛しました。インド中西部にあるコチンウエ



ストワイズメンズクラブは過去26年にわたり、コチン市内にある30の学校の生徒による華やか

な子どもラリーを組織してきました。このラリーには4,700人の子ども達が参加し、スタジアムの入り口を通過するのに1時間以上かかりました。このラリーが終了後、コチンクラブのワイズメン達は子ども達に飲み物とお菓子を配り、その労をねぎらいました。



## ユースクラブ ルネサンスの誕生

次期ロシア区理事  
Olga Voztchikova

ロシア区ウラルのワイズメンはワイズメンズ国際協会の創立85周年記念の日をお祝いしました。また、2007年の11月にはEkaterinburgでユースクラブ ルネッサンスの認証伝達式が行われました。

これらのユース達は私どもの市から多くの友人を招待し、ウラル市のPermからはゲストを一人招待しました。このPerm市には我々の活動に興味を持つ若い人々のグループがあります。ユースクラブ ルネッサンスの会員連は過去2年間、私どものワイズメン活動に熱心に参加してきました。彼らはポーランドで開催されたユースの

## 地域奉仕、国際メネット主任から

プログラムにも参加して成功を収め、2007年3月には Ekaterinburg でのコース会議を組織しました。このグループはフィンランドの Lappeenranta で開催されたコースコンベンションでも最も大きなグループであり、かつ、最もアクティブに活動しました。彼らは短い時間でプレゼンテーションで彼らが行っている活動を紹介し、将来の計画プロジェクトについて他の若者達と意見を交換しました。

### 古い建物 - 新しい利用

Katajaiset ワイズメンズクラブ  
(フィンランド、ヘルシンキ)

EskoVepsa

エストニアの Parnu には古い学校がありますが、ここ 10 間使われていません。Parnu ワイズメンズクラブではこの歴史的な学校を生き返らす画期的なアイデアを思いつきました。このアイデアを具現化するプロジェクトが起案され、研究・討議が重ねられてきました。フィンランドーBalticum 区もこのプロジェクトに参画し、修理作業の一部が区のプロジェクトとして承認されました。区の参加は EU 共同体の基金を取得するために必要であり、そのことがまたフィンランド政府の経済的支援を得る上でも必要だったのです。

ヘルシンキ Katajaiset ワイズメンズクラブのメンバー 6 人が - 週間に亘って、区プロジェクトの仕事を実施しました。実施した仕事自体はプロジェクト全体にとっては大きいものではありませんでしたが、極めて象徴的かつ必要なものでした。それはやがて大木に成長して行くための種子を蒔く行為でした。Parnu における我々のオーガナイザーを勤めたワイズメンの KaljoKaasik はこの 6 人のワイズメンの貢献に対して謝意を表す極めてすばらしい方法を思いつきました。すなわち、6 人のワイズメンが、ほぼ 100 才になるこの古い学校にコミュニティーセンターとしての新しい命を吹き込む重要な仕事をなし遂げたことを後世の人々に伝える為、彼らの内の代表者の手形を建物の新しい壁に残す特権を与えたのです。



### 一緒に大きく伸びよう - ワイズとメネット

メネット国際事業主任  
キャロル・レイノルズ

「変化は人生の法則である。過去あるいは現在にのみ目

をそらす者はかならず未来を見損なうのだ。」

ジョン・F・ケネディ

メネットクラブの存在について、少なくともメネットクラブを新しく作るということについては幾分混乱があるように思われます。もしパートナーであるメネットクラブがなければ非常に弱体化するクラブがワイズには沢山あります。そうです。私たちはパートナーなのです。そして強力なパートナーと言ってもいいでしょう。もし私たちの実績記録を見て頂けばどん別ご強力なのか分かっていただけるでしょう。私たちは地元のワイズメンズクラブをサポートします。私たちはワイズメンズクラブのすべてのプログラムに何千ドルも寄付いたします。私たちはメネット独自のタイム・オブ・ファースト事業にもまた何千ドルも捧げています。ワイズメネットクラブがその地のワイズメンズクラブよりも多くを捧げている場合もあります。タイム・オブ・ファースト委員会委員長のトルビエルン・スジュキストは過去 25 年にワイズメネットクラブは 289,386 米ドルを捧げたと述べています。

これはとても感銘を与える数字だとは思いいになりませんか。ワイズメンズクラブ国際協会に捧げる時間やお金にもまして私たちは今も尚地域社会に膨大な量のよき働きをしています。そうなのです。ですから私たちは貴重なパートナーなのです。さて、これらのすべてを見て、新クラブの認証を受けるのは賢明なことだとお考えにはなりませんか。新クラブの認証を受けるということは、この素晴らしい組織に所属するということの意味しています。またそれでワイズメネットとして国際議会にも参加することが出来るのです。そのおかげでメネット国際事業主任が国際議会の会議に行くことができるようになります。特定の運営費補助を見込むことも出来ます。しかも費用と言えば、メンバー 1 人に 1 ドルを納めればよいだけなのです。私たちは自分たちの努力を誇りにしていません。そして、自分たちがこのような世界的な組織に属していることを大きな声で叫びたいと思います。

この文をお読みにになったワイズのリーダーの方々が必要なメンバーの皆さんにワイズメネットを支持するように励まして頂くように心から望みます。ワイズの研修会でワイズメネットについての時間を持つのがよいきっかけになるでしょう。ワイズメネットになりたい女性グループの皆さん、どうか新クラブの認証を受けてください。数が増えれば力も強くなります。そして、このワイズメンという組織に属するということとはとても素敵な気持ちです。

国境なき奉仕



## 2008 年中央議会を終えて

国際書記 ロランド・ダルマス

1 月末にジュネーブで 2008 年度の年中央会議 (MYM) が開催されました。国際執行役員会 (IEO) と次期地域会長研修が MYM の前に開催されそれらの中から以下のことを報告します。

IEO は次期国際会長選出の国際選挙の結果を精査し、PAP で ISD - LTOD のカナダ人、ケビン・カミングス が次期国際会長として選出されました。選挙投票率はクラブ数の 45% でした。この数字は昨年と近い数字ですがこの重要な選挙に全てのクラブが参加することができれば良いと思いますので、さらに投票率を上げてください。

国際書記は IEO に 2010 年 (同年 12 月に国際書記の契約が終わる) 度に新しい国際書記を選出する作業計画を説明しました。この作業は 2 段階で、1)



は本年 2 月から 09 年度の ICM までの任期の“国際書記後任選出委員会”の任命です。この委員会は IHQ の将来の構造、将来の役割、必要人員、新国際書記のプロフィールなどのことの提案をします。2) は 09 年度 ICM から 10 年度 ICM の期間に人事委員会が国際書記の後任を募集する告知をし、申し込みを受け、面接をし、候補者を絞り、最終の候補者を 10 年の ICM に提出する責任であります。

MYM の参加者は国際書記からの将来計画のプログラムに関する報告を受けました。これらのプログラムが、ワイズ運動の強化・発展の為の活動実施において、クラブの重要なガイダンスとなることについて議論しました。将来計画は国際会長にとってもっとも大切なものと考えられており、運動に対しての強調すべきことの方向性を示します。

将来計画チームは、IP、ISG と 6 名のプログラムに関連する ISD で構成されており 5 月に最初の 3 年間の評価を行い、次の 3 年間への計画を進めます。

カナダの地域会長からカリブ区のカナダ地域への併合の可能性について報告がありました。意思表示の手紙が昨年 11 月に開催されたカリブ区大会で、カナダ地域とカリブ区との間で交わされました。この事は 08 年度 ICM に提案され協議されます。

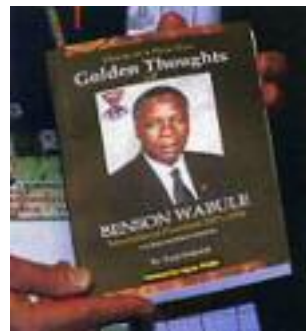
初めの部分で書きましたように、次期地域会長研修が MYM の前に開催され、1 日の研修でしたが、時期 AP にとってはより理解し準備できた貴重なもので、MYM の会議にも役にたつものであり、またその素晴らしい友好的な雰囲気は全てのワイズのレベルでも必要な精神であると思います。

国境なき奉仕

## ユース・ファンド

元ユース・インターン ジェームス・オーレ

最近ユースファンドの設立に対してかなりの注目がされています。ユースの Y'sdom への参画の推進のために資金積立ての必要性を 20 年前から叫び続けて来られた元国際会長ベンソン・ワブレは、このファンドを実現するため、2006 年の釜山国際大会で販売された彼の著書、「新しい時代の夜明け - ベンソン・ワブレの黄金のアイデア」の益金全てを献金されました。又、同コンベンションでユース代表達は「ユースバザー」と呼ばれる販売コーナーを準備しました。各国の小物などを大会参加者が韓国まで持参してくれました。本の販売とともに売り上げは 540 ドルになりました。元国際会長のワイズにおけるユースへの関わりは間違いのないものであります。



本の著者、ツンジ・マキンデと協議し、ベンソン元国際会長はさらに献金額をふやし、本の売り上げの 20% をファンドに献金することが合意されました。この本は 10 ドルで販売されていますので、一冊販売されると 2 ドルがファンドに献金されます。

ユース活動やプロジェクトの開発への思いやりは彼の強い意志表示であり、記者はこの追加の献金を発表できることを光栄に思います。家庭の本棚にも是非 1 冊かっ

ていただきたいと思います、その事は同時にユースのワイズへの関わりを支えることになります。「黄金のアイデア」の本はベンソン・ワブレ元国際会長のメッセージ、手紙そして様々な考えが紹介されています。ワイズユースによって書かれた考えさせられる手紙もあり、ASD ツンジがユースのためだけに割いた一章もあります。詳しくはツンジ・マキンデまで。

<tunjimakinde@yahoo.com>

## 成功のための踊り

ラテンアメリカカリブ地域ユース代表

ダニエラ・ピアス

ブラジル、サンパウロ YMCA のレイデ・ダス・ネバス地域センターの文化拡張プロジェクトの一部として、1999 年に一つのグループが設立されました。これには地域コミュニティの子ども、青年、年寄りや家族も参加しています。マラカツはブラジル北東部の代表的な踊りで、その実演でアフロブラジル文化を広めようとしています。イレ・アラフィアという名前は幸せの家という意味で、月 2 回グループはサンパウロの南の郊外ジャバク

## 地域奉仕



アラで集まっています。体をスイングし、激しいリズムは道行く人々から注目されます。この事業を通して若者達はブラジル文化をよみがえら

せ、自分達を社会に売り込む能力を高めようとしています。そして、それらを発展させて市場で登場させています。74のメンバーのうち5名はサンパウロの文化センターに就職しました。そしてそこで自分達の知識を他の人に伝えています。



7年以内に9つの自分達で作曲したものをCDに録音してきました。次の製作はグループ自身のドキュメンタリーです。実際に夢の実現に近づいており、彼らのコミュニティー事業は今、07/08年度のTOF事業として承認されています。「ライト、カメラ、行動する若者」と名づけられ、マラカツイレ・アラフィアについてのドキュメンタリーを地域で製作するのが目的のコース事業です。

## クリスマスのお買い物

プラトン・サターデイ・ワイズメンズクラブ(USA)  
ジュリー・ノウエル

12月はクラブにとって大変に忙しい月になります。今年も例年通りでしたが、50周年になりました。クリスマスツリー売場と近隣学校を「クリスマスのお買い物市場」に提供します。この市場のためにクラブは年間を通じてYMCAの理事さんやクラブメンバーから3000個のギフトを寄贈してもらいます。それを1ドル以下の値段で子ども達に買ってもらいます。幼稚園児から2年生までの500人の子どもが対象です。その中には2品種購入できるクーポンをもらえる特待児が75人います。彼らはいつものと50セント位の小遣いしか持ちません。したがって市場に並んでいるどのギフトでも2個買えるので大興奮です。

ワイズメンがギフトを包装して、子どもが自分の名前を付けますと、クラブ員のサンタが立ち合っています。当日の売上げは近隣の学校の備品購入資金として学校に贈呈されます。私たちは子どもたちの喜んだ手紙を頂くだ

けで大満足です。その1通を紹介しましょう。

サターデイ・ワイズメンズクラブの皆様へ

「クリスマスお買い物市場」は今年も大ヒットです。子供たちは大事を人のためにギフトを選ぶ喜びを楽しみにしています。子供達の為にクラブ員の市場当日のみならず、年間を通じての準備と膨大を作業に感謝します。そして学校に頂きました544ドルは図書館の本の購入に使わせていただきます。サンタさんとクラブの皆様には感謝します。皆様は多くの人のために素晴らしいボランティアをされています。」

テレサ(アルポリタ学夜長)

## コチクラブのお米の贈物

インド担当副編集長  
マシュー・セバスチャン

オナンはケララ州のお祭りです。世界どこでもケララの人がいるところで祝われます。お祭りはマハバリ王の時代に遡ります。当時は繁栄し、平和と善意でいっぱいでした。現在は新しい服を着て、花で床を飾り王の恩恵を偲ぶばかりでなく、毎年このときに王がこの地を訪ねてくると信じられています。

インド中西区のコチワイズメンズクラブはお祭りのとき、貧しい人に思いを寄せてクラブ事務所前に集まった人に、1980年にお米2袋の寄贈からはじまり、28年間継続しています。現在は大きなプロジェクトになっています。

ワイズの奉仕精神の発露として貧しい人を覚えてお祭りの時に今年は4500世帯に5kgのお米を寄贈しました。



(写真はインドAPのジョージCPタラカン、区理事アーレリアン・フィグレイド、部長のCJジョンソン立会いのもと、コテン市長マーシ・ウイリアム氏によるお米寄贈プロジェクトの起工式です。)

国境なき奉仕



## 聖しこの夜とフラダンス

西日本区宝塚クラブ会長  
石田由美子

2007年12月に、宝塚ワイズメンズクラブは宝塚YMCAと共催で市民クリスマスを開催しました。教会の聖歌隊とハンドベルグループ、弦楽合奏団が共演しました。今年で3年目を迎え、地域の人にもよく知られるようになりました。

クリスマス祝会は第1部で朗読と合奏でクリスマス物語が伝えられ、第2部はクリスマスキ



ャロルと宝塚クラブ会長石田由美子姉が主宰するフラダンスで参加者は大いに楽しみました。

宝塚クラブのメンバーとメネットはこの市民クリスマス祝会を企画、準備、当日の楽屋裏のボランティアでサポートしました。

祝会で14万円(1,300米ドル)献金があり、UGPの「STOP HIV/AIDS」と神戸YMCAのエイズ国際ボランティアプロジェクトに寄贈されました。

## ユース・ラン

ハワイ区東カウアイクラブ  
オルセン・ピバリー

東カウアイワイズメンズクラブは東カウアイYMCAと協働し恒例の25周年を迎える「ユース・ラン」を主催しました。参加費無料の幼児から十代までの子供を対象にした、ハワイでは最も長距離のイベントで、今年は25周年記念のイベントになりました。



参加ランナーはまずTシャツとリボンを受け取ります、次に年齢層別に軽飲食物券が渡されます。賞品は10台の自転車とおよそ100エーカーのカウアイ農場

を狭軌鉄道でツアーするPlantation Railwayに乗る切符、20枚です。

今年はワイズメン・故ジョージ・シュルツェを記念したレースとしてワイズメンにとって忘れられないレースとなりました。彼は12月31日にワイズメンとしての在

籍28年の生涯を閉じました。ジョージは25年間、このレースでいつも若いランナーを抜いて走っていました。彼の亡くなったことが本当に惜しまれます。



## 「私のこれからの1年」

### - 次期国際会長語る

次期国際会長 V.S. バシール  
親愛なるワイズの友人諸君



これからの1年に対する私の思い、切なる願いなどをこの欄を通じて皆さんにお伝えするためにお話できることを非常にうれしく思います。私たちが「すべての権利には義務が伴う」というワイズのモットーを受け

入れることにした時、神様が私たちに大きな可能性を他の人と分かち合おうという意味を私たちに与えて下さったことを私は知っています。私の役割は、ある特別の分野に皆さんの可能性を集中するように皆さんにうながすことなのです。

私は「希望の光となれ」というテーマを選びました。もしそのテーマを皆さんが注意深く見て下されば、ワイズの中ばかりでなく、それが家族であろうと、社会であろうと、共同体であろうと、国内であろうと、国際であろうと、人生のあらゆる階層の人々におけるこのモットーの意味を深く思い描くことができるでしょう。私たちは自分の資力が限られており、それですべての求めに応えることはできないということをみなよく知っています。このような状況下では、ワイズメン運動、家族、社会などに対する我々の対応をこの求めに対する解決策にしましょう。

私のスローガンは「ほほえみを持って分かち合おう」です。それを実践した時の効果を見ると皆さんの胸も躍ることでしょう。「平和はほほえみをもって分かち合うときに始まる」と言ったのはマザー・テレサでした。心からのほほえみは皆さんが人生で人の心をかちえる素晴らしい武器です。私たちのような奉仕団体においてその力に触れておくことは大切なことです。

次年度の私たちの主要な焦点は、1に「拡張!」、2に「拡張!」、3に「拡張!」です。私たちが私たちのモットーを30,000人と共有するのに75年以上かかりました。その間、私たちは非常にかげがえのない仲間も失ってしまいました。しかし私たちはワイズ運動の、上に述べた程度

## 次期国際会長から、地域奉仕

の発展で満足することができるでしょうか？私は皆さんが自分のクラブについて考えてくださることを求めたいと思います。皆さんがそれぞれ一人の新会員を連れてくることができますか？我々が親睦と奉仕をする喜びを楽しむことができたのですから、より多くの会員を会わせてワイズをより強くすること以上にワイズの未来の世代へのお返しがあるでしょうか？会員が増えるということは奉仕のための人的資源と寄与が増え、親睦の機会が増えることを意味します。周りを見回し、新しい国も含めてワイズのモットーがまだ届いていない場所を探すのが皆さんに与えられた課題です。

会員減少はすべての奉仕団体に共通の現象です。その減少が正常な限度を超えたとき、憂慮して特別の注意を払う必要があります。財政的にまたリーダーシップの面からも特別の配慮を払って発展拡張と会員減少により焦点をあてながら対処していくのが私の願いです。

私はラテンアメリカ・カリブ地域以外のすべての地域の RDE トレーニングに参加しました。RDE たちの熱意と創造性には目を見張るものがありました。来年度のワイズの活動に向けて RDE たちが調整するために彼らに私の理念と思いを伝えることができたのは幸いでした。現在の計画の段階において、このトレーニングからのフィードバックは非常に励ましとなるものであり、また刺激的なものでした。2009 年 6 月までに 35000 人の会員増を目標にできるでしょうか？他の活動分野は来年も依然として重要です。

IP 主題に集中し、特別推進プログラムと UGP に焦点をおき、資源をプールし、もっと社会にワイズの事業を目に見えるものにするように皆さんに求めます。

来る 1 年、ワイズと会員の皆さんのために奉仕するのを楽しみにしています。

## ルガウで奉仕

ルシア・リー・チャン  
(フィリピン・ダウンタウン・ワイズメネットクラブ)  
ソレル・ボランティア消防団はフィリピンの首都マニラに奉仕するいくつかのボランティア消防団のひとつ

です。団の団長はマニラ・ダウンタウン・ワイズメネットクラブの会員です。マニラの中華街に医療奉仕団を組織しよう と彼が決心した時、彼は当然ワイズを誘い込みました。マニラ・ダウンタウン・ワイズメネットクラブがすべての事務運営を処理し、医療治療室を設置し、ボランティアの医師や歯科医師が配置されました。地域への宣伝がよかったので 320 人もの方が無料診断と無料治療を受けてくれました。



マニラ・ダウンタウン・ワイズメネットクラブには地域社会に奉仕し、クラブを訪れる人やボランティアの方々に食事を提供するという古い伝統があります。その地域はとても貧しい地域なので、ルガウ（肉入りのお米の粥）を来た方々に振舞うことになりました。メネットが代金を支払ってルガウを準備し、診療の後、それを振舞いました。

ルガウはとても評判がよく忽ちなくなってしまい、大型保温バケツに 8 杯も準備したのに、ボランティアで働いた方々の中には仕事を終わった後で食べることができない人もいたほどでした。

表紙の写真は、ハワイの East Kauai Y's Men's Club から送って頂いたものです。記事は、11 頁をご覧ください。

次号の原稿締め切りは、8 月 20 日です。

記事、写真を山川までお送り下さい。

ワイズメンズワールド 2007/08 年度 第 2 号 日本語版  
発行 ワイズメンズクラブ国際協会東・西日本区  
東日本区理事 越智京子・西日本区理事 神谷尚孝  
作成責任者 山川一郎  
印刷 (株)三浦印刷所  
から OCR 読み取り再編集 by 東日本区十河